

滑川町家族介護教室 の実践について

在宅介護支援センター森林園
相談員 小原輝子

森林園

- 平成4年(1992年):特別養護老人ホームとショートステイ、デイサービスを開設
- 平成12年(2000年):居宅介護支援事業所、訪問介護、在宅介護支援センター(滑川町からの受託事業)を開設
- 平成20年(2008年):ユニット型特養を増築

[家族介護教室]

- 滑川町からの受託事業
- 地域包括支援センターとの協同事業
- 平成20年(2008年)から開催



滑川町の特徴

人口 19,728人(2023年4月1日)
*高齢化率:23.00%

福祉 高齢者の入所施設は町内に4か所あり、特別養護老人ホームは森林園の1か所である。給食費の無償化や18歳までの医療費無料化など、子育て支援を行い、子育て世帯の転入や合計特殊出生率が高い為、高齢化率は低い

交通 東武東上線が走り、町内には2か所の駅がある。移動手段は自動車が大半であり、高齢で交通手段を持たない方はデマンド交通「ターナちゃん」を利用している

家族介護教室の目的

対象

- ①高齢者の介護で悩む家族
- ②今後介護をする可能性のある家族

目的

- ・ 介護保険制度やサービスの利用方法、在宅介護の方法等を学んでもらい、介護力を身につけられるよう支援する
- ・ 教室に参加することで、介護に対し不安や悩みを持つ仲間同士の交流を図り、介護家族の孤立を防止する

家族介護教室の概要①

- 主催：町地域包括支援センター
- 財源：町からの委託料（講師謝金）
- 定員：10名/1回
- 参加料：無料
- 周知方法：回覧（右図）

回 覧

町民各位

令和5年6月1日

滑川町長 大塚 信一（公印省略）

家族介護教室のお知らせ



高齢者の介護で悩む家族や今後介護をする可能性のある家族に、介護保険の制度やサービスの利用方法、在宅介護の方法等を学んでもらい、介護力を身に付けられるよう支援する。また、教室に参加することで、介護に対し不安や悩みを持つ仲間同士の交流を図り、介護家族の孤立を防止する。

対 象 者 現在高齢者の介護をしている方、介護をする可能性のある方、
介護に興味のある方など

日程・内容 裏面をご参照ください

* 1回のみでも、全7回でもお好きな教室に参加可能です！

費 用 無 料

定 員 10名

申 込 み **6月12日(月)から電話で受付をします。**

※受付時間は平日の午前9時～午後5時です。
受付は定員になり次第終了させていただきます。



滑川町地域包括支援センター ☎56-2132

家族介護教室の概要②

- ・回数:全7回(令和5年度)
- *全日でも1回のみでも申し込みが可能



令和5年度 家族介護教室(全7回)

時間: 午前10時～午前11時30分(第1回・第7回のみ午後開催)

	実施日	内容	会場
第1回	7月6日(木) 14時～15時30分	「困った時に頼れる制度 介護保険」 講師: 在宅介護支援センター相談員	コミュニティセンター
第2回	8月10日(木)	「施設見学」 いづみケアセンター	いづみケアセンター
第3回	9月7日(木)	「認知症について 基礎知識編」 講師: 在宅介護支援センター相談員	コミュニティセンター
第4回	10月12日(木)	「介護者の集い」 ※交流会あり 講師: 認知症のひとと家族の会 世話人	コミュニティセンター
第5回	11月16日(木)	「認知症について」 ～音楽の不思議な力～ 講師: 音楽療法士 山岸 恵氏	コミュニティセンター
第6回	12月7日(木)	「ハワイのオイルケア」 ～ひざから下のむくみ対策～ 講師: ハワイアンロミロミ noriko 岡田 宣子 氏	保健センター2階
第7回	令和6年 1月11日(木) 14時～15時30分	「在宅における感染症対策」 講師: 小川赤十字病院訪問看護ステーション 村山 嘉津子 氏	コミュニティセンター

※日程、内容は予定であり、講師や会場の都合により変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

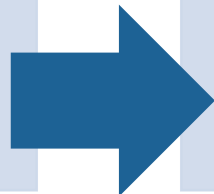
☆ご不明な点・ご質問など、お気軽にお電話ください☆

滑川町地域包括支援センター ☎56-2132

集客の課題

開催当初:2008年～

- 介護保険や在宅介護についての知識が町民に浸透していなかった
- 参加者は、定員いっぱいだった



近年

- 毎年開催した効果が出て、住民の中に介護の知識が増えてきた
- 参加者が少なくなってきたことが近年の課題になった

集客のための工夫

①「面白そう」「行ってみたい」と思ってもらえるテーマの工夫

②タイトルを工夫

「身体介護について」から「初めての身体介護～コツをつかんで楽々介護」などへ

③チラシを地域包括支援センターの窓口に掲示

介護の相談に来た人に一番目につく場所。近隣地域を参考に

④地域ケア会議でケアマネジャーさんが集まったときに紹介

介護で悩んでいる人と向き合っているケアマネジャーさんから、教室への参加を促してもらうように依頼

テーマの設定①

・在宅介護支援センターの相談員として、日常、課題に感じていることをテーマに取り上げる

最近、下肢のむくみに悩んでいる方が多いので、今年度は家庭でもできるむくみ対策をテーマの1つにした

「ハワイのオイルケア」
～ひざから下のむくみ対策～
講師：ハワイアンロミロミ noriko
岡田 宣子 氏

・参加者のニーズを参考にする

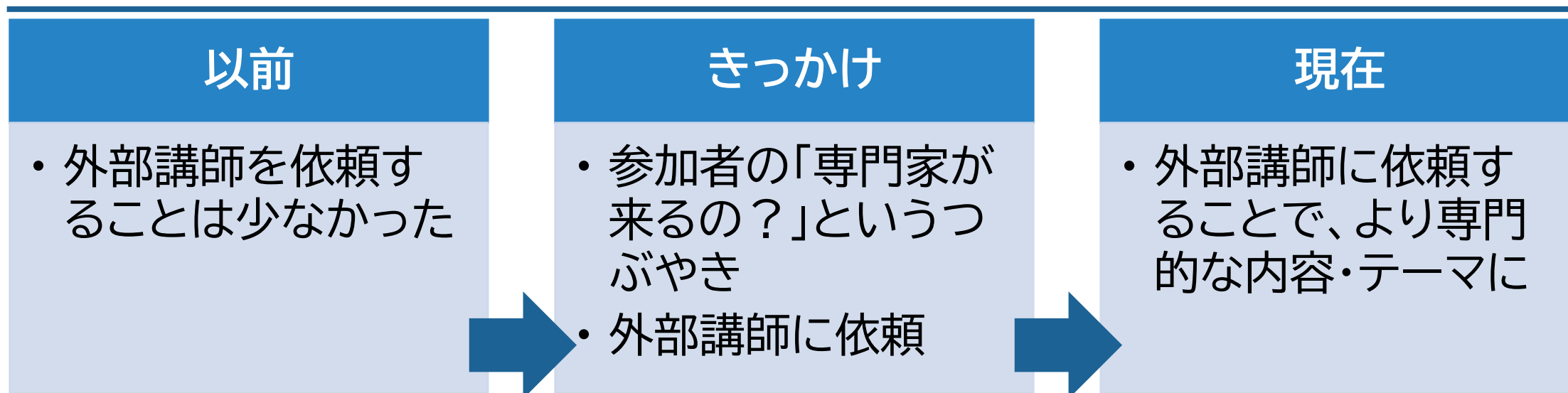
昨年、家族の排泄介助をする男性の参加者がいた際に、町内には異性の家族を介護する男性介護者がもっといるはずだと気づいた。

今年は、「男性のための」とはできなかったが、「介護者の集い※交流会あり」とした

「介護者の集い」 ※交流会あり
講師：認知症の人と家族の会 世話人

・近隣市町村や他県の家族介護教室の内容を参考にする

テーマの設定② 外部講師



- これまでのつながりを活用する**

集いに参加して面識のあった「認知症の人と家族の会」の世話人の方に依頼

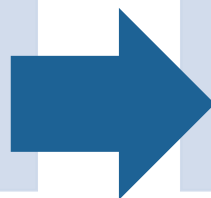
- 相談員として参加した研修を活用する**

埼玉県のスキルアップ研修で、内容が家族介護教室にも適していると判断した場合は、その講師に依頼

開催時間の工夫

～令和3年度

- ・午後2時～3時半に開催
- ・うとうとしてしまう人もいた
- ・開催時間にも問題があると気づいた



令和4年度～

- ・午前10時～11時半に変更
- ・集中力を保ちながら参加する人が多くなった

家族介護教室のケアラー支援効果(例)

行政サービスにつながる

- 町の福祉制度を紹介する
 - 参加者が、寝たきりの人を介護する人への支援があることを知り、役場に相談する
 - 「ねたきり老人等手当」が支給される

介護知識が深まる

- 認知症介護でのユマニチュードをテーマに取り上げる
 - 参加者から、普段の介護を振り返るきっかけになった、対応の仕方がわかったと言われた

孤立防止につながる

- 今年7月の教室後
 - 参加者が、地域包括支援センターの職員や在宅介護支援センターの相談員に介護相談をする
 - 介護者の孤立を防止する

担当者としての思い

思い

住民が介護仲間や行政とつながりを感じて、明るい気持ちで介護に向き合うことができるようにとの思いで臨んでいる

心がけ

可能な範囲で、さまざまな研修に参加して企画のヒントを得る

新聞の折り込みチラシなどからもヒントを得るように意識する